

# 地域医療連携室着任の御挨拶

2月1日付けで地域医療連携室に着任しております、野村将和と申します。

異動前は理学療法士として回復期リハビリテーション病棟に従事しておりました。外来、入院をはじめデイケアや訪問リハビリテーション、災害時のJRAT活動と、幅広く経験させていただきました。当院では昨年よりリハビリテーション部新部長のもと、新体制下でのリハビリ提供を開始しており、より質の高い医療を目指し、病院一丸となって取り組んでいるところです。

昨今、コロナウイルスによる感染拡大は留まることなく、未だ終息の兆しが見えない状況であります。しかし、そのような渦中にあっても回復期病院としての役割を遂行できるよう、チーム医療はもとより、各医療機関・施設様との密でスムーズな連携が行えるよう努めていきたいと考えています。

今後は地域医療連携室メディカルソーシャルワーカーの立場から支援をさせていただくこととなりますが、理学療法士としての知識、経験を活かし、皆様のお役に立てるよう、尽力していく所存です。



是非、お気軽に転院のご相談ください。  
どうぞよろしくお願い致します。

メディカルソーシャルワーカー  
理学療法士

**野村 将和**



# TERAO NEWS

Vol.28  
2022.3発行



## 寺尾レポート

	R3.12	R4.1	R4.2
1日平均 外来数	143.3	137.1	177.5
新規入院	76	77	53
退院	44	64	64
通所リハ 利用者数	1110	915	829

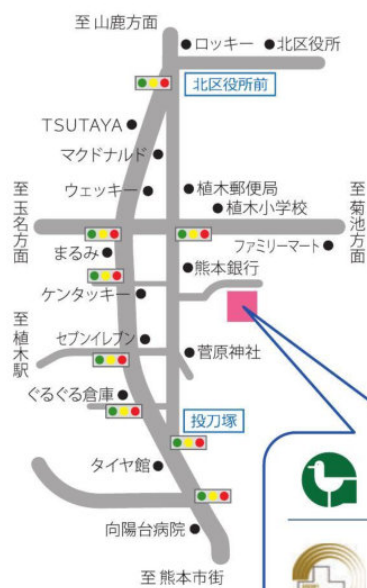
(単位:人)

○回復期リハビリテーション病棟  
在宅復帰率:83.5% 平均単位数:4.7単位  
入院時の重症割合:39.7% 平均在院日数:57.4日  
重症改善割合:63.8%  
実績指数:46.14


○地域包括ケア病棟  
在宅復帰率:86.0%  
平均在院日数:28日



## 交通アクセス



- ▶九州産交バス/熊本～山鹿線  
寺尾病院前バス停より…徒歩約1分
- ▶JR九州/JR鹿児島本線  
植木駅下車…タクシーで約8分
- ▶自家用車/九州自動車道  
植木インターより…車で約10分  
水道町交差点より…車で約30分

 医療法人 寺尾会 寺尾病院

 〒861-5504 熊本市北区小糸山町759  
 TEL:096-272-0601 / FAX:096-273-2759  
 URL <http://www.terao.or.jp/>



terao hospital  
創立 90 周年のご挨拶



## 継続は力なり

院長 高松 徹



当院は 2022 年 3 月 7 日をもって創立 90 周年を迎えることができました。これもひとえに関係各位のご支援ご厚情の賜物と深く感謝いたします。

当院は前理事長（寺尾知道）の積極的な地域医療への取り組みもあり、1951 年医療法人設立、1966 年からは診療所から病院へと移行増床し、今日に至るまで地域の方々の信頼と共に 90 年の時を経てまいりました。2015 年新病院へ移行し、介護部門を併設し新たな試み等に尽力しております。入職前は久留米大学に整形外科医として勤務しておりましたが、縁あって前理事長の故寺尾知道先生に当院で働きませんかとお誘いを受け、お世話になる決意を致しました。それから約 34 年、寺尾病院で整形外科医として、腰痛、関節痛、頸腕痛など主な整形外科的疾患を始め、外傷、スポーツ障害、骨粗鬆症、関節リウマチ等についての診断・治療を行っております。診療として問診、診察、必要に応じて各種検査（MRI、CT、X 線、超音波、骨密度測定、血液検査）を行った後に診断し、症状に合った治療を行います。

昨今では画像診断学の進歩が著しく、正確な診断・治療を行うため MRI(1.5 テスラー)、CT(80 列)、超音波検査、骨密度（全身）等の機器を導入し、当院の基本理念である最新の医学知識と医療技術を学び、研鑽し、医療の安全性を維持・向上させる努力を継続的に行うことに力を入れております。また近年当院では、リハビリテーション部門にも力を入れており、骨や関節、筋肉のけが、痛み、運動障害などに対してリハビリテーションを行っております。院内には『回復期リハビリテーション』病棟を持ち、患者様一人ひとりの状態や体調に合わせたプログラムが生まれ、最も効果的なリハビリテーションができるようスタッフ一同が携わっております。

当院では、熊本大学病院・国立病院機構熊本医療センター等と常に連携体制をとっており、当院での対応が難しい手術等が必要な患者様には専門医療機関に紹介をしております。

尚、当院の整形外科では予約は行っておりませんので、診察時間帯にお越しいただければ診察させていただきます。少しでも気になることがありましたら、ぜひご相談ください。

これからも職員と共に力を合わせ、心の通った人間関係を失わず家庭的な雰囲気医療・看護・介護・リハビリテーションと総合医療施設の継続を目指していく所存でございます。今後とも更なるご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、二年以上にも続く新型コロナウイルス感染症による影響で何かと不便の多い今日ですが、この状況が一日も早く終息に向かい、平穏な日々と皆様の健康を取り戻せるよう心から願っております。また、患者様に安心して受診いただける環境整備と取り組みを継続して参りますので、ご理解ご協力をお願いしたいと存じます。

寺尾病院は、これからも地域の皆様に愛される病院づくりを目指し、邁進してまいります。



副理事長 寺尾 幹

医療法人寺尾病院は前身である寺尾医院に遡ると令和 4 年 3 月 7 日をもって開院 90 周年を迎えます。これもひとえに、あたたかい御支援と御協力を賜っております地域の皆さまをはじめ、関連の医療機関・福祉施設等多くの方々、また病院機能の充実を目指して日夜真摯に医療・介護に取り組んでいる当職員のお陰であり、心より感謝申し上げます。入職後、私にとって印象に残る一番の出来事は平成 27 年 5 月 1 日の新病院開院です。プロジェクトの陣頭指揮を執り、病院建て替えを無事完了させたことは感慨深いものでした。今後も法人理念に則り、時代の変化を読みつつ、質の高い医療・介護サービスの提供を継続していきたいと思っております。そして 10 年後の 100 周年記念日に更に当法人が輝きを増し、地域での信頼を高めていることを願い、ご挨拶とさせていただきます。

創立 90 周年おめでとうございます。今まで努力をしてこられた先輩の方々に感謝し、この中で自分が働いていることを誇りに思います。寺尾病院が地域の皆様の健康を見守り支え築きあげた信頼が、「90 年」という継続（資産）になっていると思います。理念にもあるように、笑顔で挨拶、チームを大切に職員それぞれにコミュニケーションを取りコツコツと努力を積み重ねた結果でもあります。私が入職した頃は最前線で寺尾敏子先生が診療をされており、患者さまと話される笑顔はすてきで、今も職員に患者様さまと向き合う時は変わらない笑顔だとうれしく思っています。看護師として、一人一人がやりがいを持って目標に向かっていけるようにサポートを行い、共に成長していきたいと思っております。



看護部長 内田 良子



リハビリテーション部  
部長 西村 隆文

20 年近く前に立ち上がったリハビリテーション室（現在は部）も、回復期リハビリテーション病棟、通所・訪問リハビリテーションの開設に伴い徐々に拡大し、現在では 30 名を超えるセラピスト数となりました。植木地区においては最も規模の大きなリハビリテーション施設に成長致しました。この 20 年の間にリハビリテーション業界においても様々な変革があり、近年ではロボットなどの先進技術を活用した機器が広まりつつあります。しかし、最近思うことは、私たちセラピストは機械を相手にしているのではなく、患者という「人」を相手にしているということを忘れてはならないと感じています。セラピストとしての知識・技術の向上はもちろんですが、医療人としての資質を高める教育にも力を入れる必要があります。寺尾病院リハビリテーション部は次の 10 年を見据えてさらに歩みを進めてまいります。今後も寺尾病院リハビリテーション部をどうぞよろしくお願いいたします。